

大分豊府PTA かわら版 No.4

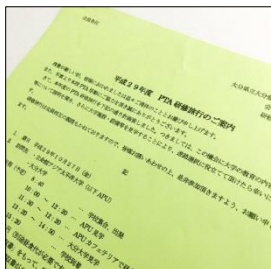
平成29年9月16日

久しぶりの「かわら版」発行です。大分豊府PTAでは、広報誌「豊流」やFacebookを通して様々な情報発信をしていますが、この「かわら版」はいわばスピノフ的な存在。今年も不定期ながらポチポチと発行してまいりますので、どうぞヨロシク願います！

さて、今年ちょっとカッコつけて「テーマ」を設定してみました。その名も「大分豊府を支える人たち」。生徒も保護者もほとんど会うことはないけれど、大分豊府が元気なのはこの方のおかげです！という方々をご紹介していきたいと思っています。

発行：大分豊府中高PTA執行部、編集：会長 三浦恭子

PTAからのプリントは「緑色」です！



「他のプリントに紛れてPTAからのお知らせを見落とす」とお困りの保護者のみなさん！今年8月より、PTAからのお知らせは「緑色」の紙を使用しています。

「大分豊府中学・高校PTA」Facebookのご紹介



PTAフェイスブックでは、PTA活動のほかに、生徒の様々な活動の様子をお知らせしています。記事の掲載を希望される方は、メッセージでお知らせください。※写真や名称の使用については許可を得たものをお願いします。なお記事掲載までには少し時間がかかりますことをご了承下さい。

●**学校薬剤師のお仕事って？**
学校薬剤師は、生徒が健康に学習することができるよう学校内の環境衛生について検査や助言を行います。薬剤師の資格を有しており、公立学校の場合は1校に1人配置されています。また、学校で行われる「学校保健委員会」に出席します。
※当校の場合、学校保健委員会には、保護者側から各学年委員長が出席しています。

学校薬剤師、という言葉を知って目にした方も多いのではないのでしょうか？今回は、大分豊府中・高の学校薬剤師・梶原直美先生にお話を伺いました。

大分豊府を支える人たち①

A person who supports from the shadows

学校薬剤師



梶原直美先生

●検査する項目は？

検査項目や頻度は、学校保健法に定められています。

まず年度初めに「飲料水」の検査を行います。夏には「プール」の水の検査を行います。その際には塩素の濃度なども検査しています。

「ダニ」の検査では、カーペットや畳、保健室の布団などを調べます。教室の中では、照明の「照度」や「騒音」などを調べますが、

大分豊府の場合、二酸化炭素の濃度については、検査センターが調べています。



【編集後記】

今年のテーマ「大分豊府を支える人たち」に英訳を添えよう！とひらめいたのはいいけれど、私は英語が大の苦手(汗)そこで、速攻でPTA担当の中島先生(英語科)にご協力をお願いしました。ALTのベサニー先生もアドバイスをくださったとのこと。感謝！感謝！大分豊府は、生徒と先生を合わせると約1300名もの大所帯。PTA会員も含めるとエライコッチャ！の数ですが、こうやって快く下支えして下さる皆さんの善意のおかげで、大分豊府は成り立ってるんですね～(み)

とても優しい雰囲気の中島先生。これからも、大分豊府の生徒たちが元気に楽しく学校生活を送ることができるようヨロシクお願いします！



●**気をつけること**
インフルエンザを予防するためにも、冬は「手洗い」が大事です。できれば泡タイプの石鹸がおすすめです。